

# 岩手県防災会議

## 地震・津波被害想定調査検討部会

### 第2回 議事概要

日時：2021年11月11日（木）14：00～16：00

場所：岩手県水産会館 5階 大会議室（&WEB）

#### 1. 津波浸水想定について【資料1】

- ・浸水域の作業を進めるにあたって、年度末に成果が出るという話だったが、被害想定作業は間に合うのか。
- 公表は年度末の予定だが、見通しが立った段階でデータは被害想定の方に渡す予定。
- ・千島海溝のシミュレーションについて、日本海溝・千島海溝のシミュレーションとの違いについて確認したい。また、県はシミュレーションを公表した後に、各市町村の取組があることを念頭に、空白期間が生じないように、できるだけ早くというスケジュール感で進めてほしい。
- 国と県のシミュレーションの大きな違いは、地形データの年次とメッシュサイズである。地形データについて、国は平成29年、県は令和2年度末のデータを使っている。メッシュデータについては、国は10mメッシュ、県では5mメッシュデータを使っている。
- ・各種施設の条件設定について、防潮堤や水門が壊れた場合、色々なケースが考えられると思うが、複数のケースを想定するのか。
- 国が出している手引きの中で考え方が統一されている。越流した段階で破堤した場合を想定して行う。

#### 2. 想定地震に基づく自然災害の予測結果について【資料2】

- ・14ページ:ABCの各パターンについて、結果が変わってしまう理由は把握しているのか。
- 深部地盤モデルの違いが影響している。
- ・各パターンの重ね合わせを採用したのか。
- 内閣府が別の地盤モデルを用いて被害想定を検討しており、その結果を流用できるということで今回は最大をとろうという判断となり、重ね合わせを行った。
- ・18ページ：東北地方太平洋沖地震の気象庁により推定したものは、250mメッシュで直接的な比較はできるのか。
- 250mメッシュの震度分布図を作成して、被害を予測する予定である。
- ・資料は事前に説明を受けており確認している。一部、明治三陸地震の震度の点検は必要だが、手法については特に問題ないと思う。
- ・各市町村によって震度が異なるため、公表した際に各自治体からの注目は高いと思う。自

治体ごとの違いについてどう説明するのか、準備しておく必要がある。

→公表の仕方については、今後検討を行っていく。

- ・委員会の時には動的マップにして、ある程度拡大して見られる資料とするべきである。
- ・結果の公表前に市町村説明をすることも考えた方が良い。

## 2. 地震・津波による被害の予測手法の検討について【資料 3】

・モバイル空間を使って、夜間人口・昼間人口はそれぞれ別々に用いて補正を行っているのか。

→経済センサス・国勢調査のリンクデータも加味して作成している。人口そのものは、令和2年の国勢調査の速報値に補正をかけて作成している。

・今回、改めて被害想定を行う理由は、日本海溝モデルが東日本大震災よりも大きな津波が発生する危険性があるためである。津波による犠牲の大きさに着目し、項目にメリハリをつけた被害想定とした方が良い。

→試算した後、その後の対策も踏まえ、項目の出し方について検討していく。

・東日本大震災後、国・県・住民はいろいろとやってきた、その活動の成果が被害想定に反映できると良い。自主防災組織の活動も高まっており、避難訓練の参加などの効果も見えるようにして欲しい。

→東日本大震災後に進めてきたことは考慮していきたい。結果が出る前に市町村との意見交換などもしていきたい。避難については、当時の避難意識による実績で計算した上で、避難対策の効果が出た場合もまとめていく。

・対策を並行して考えるためにはある程度数字が無いと議論が進まない。いつまでにどの程度結果が出るか知りたい。

→今回の部会を踏まえて、これから算定を行い、年内には津波以外の大部分の計算を終えるスケジュールで考えている。委員の皆さまに経過報告を出しつつ進める予定である。

・港内の漂流物（陸からの家屋や海の養殖施設等）を、被害想定に組み込むことはできないか。

→港湾については項目に入っているが、漂流物については評価が難しい。今後、どのような評価ができるか検討していく。

・暗い中での被災を考えると、停電の有無は重要になる。被害の状況も変わると思うがどのように考えているのか。

→停電の状況を加味することについて、検討を行う。

・想定には多くの仮説を含んでいるため、設定条件をわかりやすく示す必要がある。住民に伝える際は伝え方を考えないといけない。どのように避難したら生存できるかとか、死者や溺死などでなく、生存率のような数字で出すなど、表現方法も検討してほしい。

以上